



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
 ☎026(235)2800 FAX026(235)0016
 e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／村田秀雄 幹事／太田裕志 クラブ会報委員長／坂本千尋
 SAA／轟 修平 副SAA／藤澤克彦

第1651回例会 2022年（令和4年）12月16日（金）

イマジン ロータリー
 IMAJINE ROTARY

副会長挨拶

南 信行副会長



本日は、長野女子高等学校インターアクトクラブの会長・幹事さん・インタアクターの皆さんと顧問の望月教頭先生をお迎えして活動報告報告をいただきます。よろしくお願ひいたします。

インターアクトクラブの皆さんも、又、私達ロータリークラブもそうですが、他の人のために、良いことをしたいと思って、それぞれのクラブに参加して奉仕活動を行っているわけであります。そこで今日は、インターアクトの皆さんに話しかける形で、ロータリーの奉仕の理念を我々ロータリークラブの皆さんと再確認したいと思います。

奉仕には、自発性の有り・無しが関係ないものと、自発性が必要なものがあります。前者を社会奉仕活動（英語でソーシャル・サービス・アクティビティーといいます）、後者のことをボランティアと言います。

たとえば、学校で、生徒会の提案で毎朝学校周辺のゴミ拾いを全校生徒で実施する、これは社会奉仕活動です。これに対して生徒会の提案で、参加したい人が毎朝学校の周辺のゴミ拾いをするのはボランティアですね。

ロータリーはロータリアンをボランティアに育てる団体です。クラブで行う奉仕活動を通じて、個々の奉仕のスキルを磨き、家庭・職場・地域社会に戻ってボランティアをする。これがロータリーの個人奉仕の理念です。極端な言い方になるかもしれませんが、クラブで行う奉仕活動は会員の為の研究室での実験と言えるかもしれません。また、ロータリーには次のような言葉があります、「入りて学び、出でて奉仕せよ」と、この「入りて学び」のためにはみんなが協力的でなければなりません。まずは会員同士の友情と信頼が大切になり

ます。ロータリークラブでは奉仕活動やクラブ運営で仲間から頼まれたら、返事は、基本的に「はい」か「イエス」しかないんです。私達は毎年役員を交代でやります、その年の役員にいろいろ頼み事されたら、自発的に「ハイ喜んで！」です。まずはここからボランティアの訓練ということですよ。（お分かりいただけましたか？西ロータリークラブの皆さんもですね）

以上、副会長の時間を終わります。

幹事報告

太田裕志幹事



・先週開催されました年末家族会は、無事終了いたしました。大勢の皆様にご参加いただきました。ありがとうございます。また、本日青木さんよりその時のお写真を提供いただきました。この場にて、御礼申し上げます。

・次週23日で今年最後の例会となります。11：45よりクラブ協議会もごございますので、理事・役員の方は、宜しくお願い致します。

例会案内

12月30日、1月6・13日 休会
 1月20日 新年度初例会
 会員卓話 若麻績信昭さん
 1月27日 創立記念例会 於：ます栄
 2月3日 ゲスト卓話 田中 啓さん
 有旅ワイナリー（株）
 2月10日 休会

12 / 23 本日のプログラム

会員卓話 浦田理奈さん
 「自己紹介」

出席・ニコBOX報告 山本博昭例会運営委員長

12/16 (会員32名) 出席25名 出席率78.13

ゲスト 長野女子高等学校インターアクトクラブの皆さん・望月 誠教頭先生



- ・南 信行さん☆長野女子高インターアクトクラブの皆さんようこそお見え頂きました。会長の代わりに歓迎の挨拶致します。
- ・飯田弘己さん☆長野女子高インターアクトクラブの皆さんようこそ。

・合計 4,000円 ・累計 331,996円

ゲスト卓話 長野女子高等学校 IAC

「活動報告」



皆様こんにちは。いつも私たちの活動にご理解、協力をいただきありがとうございます。コロナの影響により、例会での活動報告をするのは3年振りと聞いております。年間活動報告ですが、3年分の感謝を込めて報告させていただきます。

1つ目は、皆様の御協力を得て今年6月に開催されたインターアクト地区大会について。2つ目は、日ごろ長野市三輪地区で行っている地域活動についてお話をさせていただきたいと思っております。

先ず、6月26日に私たちがホスト校となり行われた第29回インターアクト地区大会についてですが、皆様ご存知の通りコロナウィルス感染対策によりオンラインでの開催となりました。もともとは、自然豊かな飯綱高原での開催を予定していました。大会テーマも今日も世界を救う—自然と共に考える私たちのCAN DO—といたしました。自然の中で環境問題について考えようという趣旨です。事前にロータリークラブの皆さんとも森林学習や記念植樹を行い大会の研修内容なども考えていました。しかし、コロナの影響により対面開催を断念しました。それからは、オンライン実施に切り替え研修内容を考えました。オンラインで

あってもなるべくワークショップ形式にしたいと考え、各校との意見交換が出来たり、体験的な内容が盛り込めるよう準備しました。(株)明治の片岡様からは、私たちにとって身近なチョコレートについてカカオ豆の生産から産地が抱える課題を教えて頂き、実際にチョコレートのテイastingも行いました。また、長野県環境政策課の方からは、県内同世代の若者たちの活動をご紹介いただきました。教室の断熱DIYや食品ロスを減らす取り組み、エシカル消費、省エネルギーなど具体的な事例が沢山あり、県内の高校生が取り組んでいる活動を多く知ることが出来ました。最後に長野県環境保全協会様よりご講評をいただき、信州環境カレッジの取組や温暖化防止センターで貸出を行っているエコグッズの活用等についてご紹介いただきました。地区大会の開催にあたり、長野西ロータリークラブの皆様にも事前準備、当日の運営に至るまでご協力を頂きました皆様にも心から感謝いたします。

2つ目の地域活動についてご紹介いたします。私たちは、学校のある三輪地区において地域を元気にする様々な活動を行っています。清掃活動などはもちろん住民の皆さんと地域オリジナルのお弁当を考案して販売したり、三輪地区をPRするフリーペーパー情報誌の取材や編集、発行を行ったりしています。今年特に力を入れた活動として三輪たんぼ保存プロジェクトの紹介をさせていただきます。この活動は3年前の2019年に先輩方が始めた活動となります。もともと、三輪地区は稲里が盛んな地区で地域一帯が水田であったことから三輪たんぼと呼ばれていました。しかし、戦後の開発、都市化に伴って田んぼはほとんどなくなり、今は20mほどの田んぼしか地区内に残っていないそうです。学校の駐車場の空きスペースを自分たちで開墾するところから始め、1ヶ月くらいかけてすべて人力で40cmほど掘り下げたそうです。今年は、6月に田植えを行い、10月中旬には稲刈りを行い、無事に収穫出来ました。この活動を始めてから、コロナの影響で飲食が制限され、収穫したお米を地域の方に振舞っていませんでした。そこで、今年初めてお米の製品化に取り組みました。米パフは米を膨らませた駄菓子で市内の業者に加工してもらいました。今回商品化に成功し、先輩方の夢を叶えることが出来ました。とても達成感のある活動となりました。この商品化にもご支援を頂き本当にありがとうございました。